

量子力学 II 演習問題 (第3回)

樋口 さぶろお*

1996年10月31日

[3-1] 多粒子の量子力学

内部自由度のない2つの Bose 粒子が1次元の調和振動子ポテンシャルの中で運動している:

$$(1) \quad H = \frac{1}{2m}(p_1^2 + p_2^2) + \frac{1}{2}m\omega^2(x_1^2 + x_2^2).$$

1. 2つの粒子が区別できる時、2粒子系のエネルギー固有状態 $\Psi(x_1, x_2)$ とエネルギー固有値を求めよ。ただし、1粒子の調和振動子の固有関数 $\psi_n(x)$ とエネルギー固有値 $E_n = (n + 1/2)\hbar\omega$ を用いて表せばよい。(i.e. Hermite 多項式の具体的な形は書かなくてよい)。

Hint. 変数分離.

2. 2つの粒子が同種粒子で区別できない時、2粒子系のエネルギー固有状態 $\Psi(x_1, x_2)$ とエネルギー固有値を求めよ。ただし、上と同様に $\psi_n(x)$ と E_n で書けばよい。

Hint. 対称化.

[3-2] 重心座標と相対座標

上の問題で、

1. (区別できる) 2粒子間の相互作用ポテンシャル $V_{\text{int}} = \frac{1}{2}f \cdot (x_1 - x_2)^2$ がはたらいいているとき、エネルギー固有状態とエネルギー固有値を求めよ。

Hint. 重心座標と相対座標で書き直す、あるいは適当な線形結合をとって‘対角化’する。

2. 上で、2つの粒子が同種粒子で区別できない時、2粒子系のエネルギー固有状態 $\Psi(x_1, x_2)$ とエネルギー固有値を求めよ。ただし、上と同様に $\psi_n(x)$ と E_n で書けばよい。

*Internet address: hig@rice.c.u-tokyo.ac.jp URL: <http://rice.c.u-tokyo.ac.jp/~hig/>,
へや: 駒場4号館413B(学生室の隣) 氷上研究室, でんわ: (03)54.54.67.35

Hint. Hermite 多項式 $H_n(x)$ は n が偶 (奇) のとき偶 (奇) 関数.

[3-3] 角運動量の合成

Spin 1 を持つ 2 つの (区別できる) boson $i = 1, 2$ があり, その spin 演算子を $S_i = (S_{ix}, S_{iy}, S_{iz})$ とかく. S_1^2 と S_{1z} の同時固有状態を $u_m (m = -1, 0, +1)$ とし, S_2^2 と S_{2z} の同時固有状態を $v_m (m = -1, 0, +1)$ とする.

すなわち

$$(2) \quad \begin{aligned} S_1^2 u_m &= 1(1+1)\hbar^2 u_m & S_{1z} u_m &= m\hbar u_m \\ S_2^2 v_m &= 1(1+1)\hbar^2 v_m & S_{2z} v_m &= m\hbar v_m \end{aligned}$$

とする (いわば, $u_m, v_m \equiv \psi_{j=1, m}$). 演算子 $S = (S_x, S_y, S_z)$ を $S = S_1 + S_2$ と定義する.

1. 状態 $u_1 v_1$ が S^2, S_z の同時固有関数であることを示せ. 固有値は何か. 式

$$(3) \quad 2\mathbf{S}_1 \cdot \mathbf{S}_2 = S_{1+}S_{2-} + S_{1-}S_{2+} + 2S_{1z}S_{2z}$$

が有用かもしれない ($S_{\pm} := S_x \pm \sqrt{-1}S_y$).

2. 状態 $u_1 v_1$ に S_- を繰り返し作用させたものは, また S^2, S_z の同時固有状態であり, $j = 2$ の 5 重項をなす. これらの固有状態を求め, 規格化せよ.
3. 他に, $j = 1$ の 3 重項, $j = 0$ の 1 重項がある. これらに属する状態を求めよ.

参考文献

- [1] 中嶋, 吉岡, 例解 量子力学演習, 物理入門コース / 演習 3 (1991) 岩波書店.
- [2] 中嶋, 量子力学 II, 物理入門コース 6 岩波書店.
- [3] 小出, 量子力学 (II) (改訂版), 基礎物理学選書 5B(1990), 裳華房.
- [4] L. I. Schiff, *Quantum Mechanics*, 3rd edition, McGraw-Hill (1968). 訳書は吉岡書店.
- [5] J. J. Sakurai, *Modern Quantum Mechanics*, Benjamin (1985). 訳書は吉岡書店.